

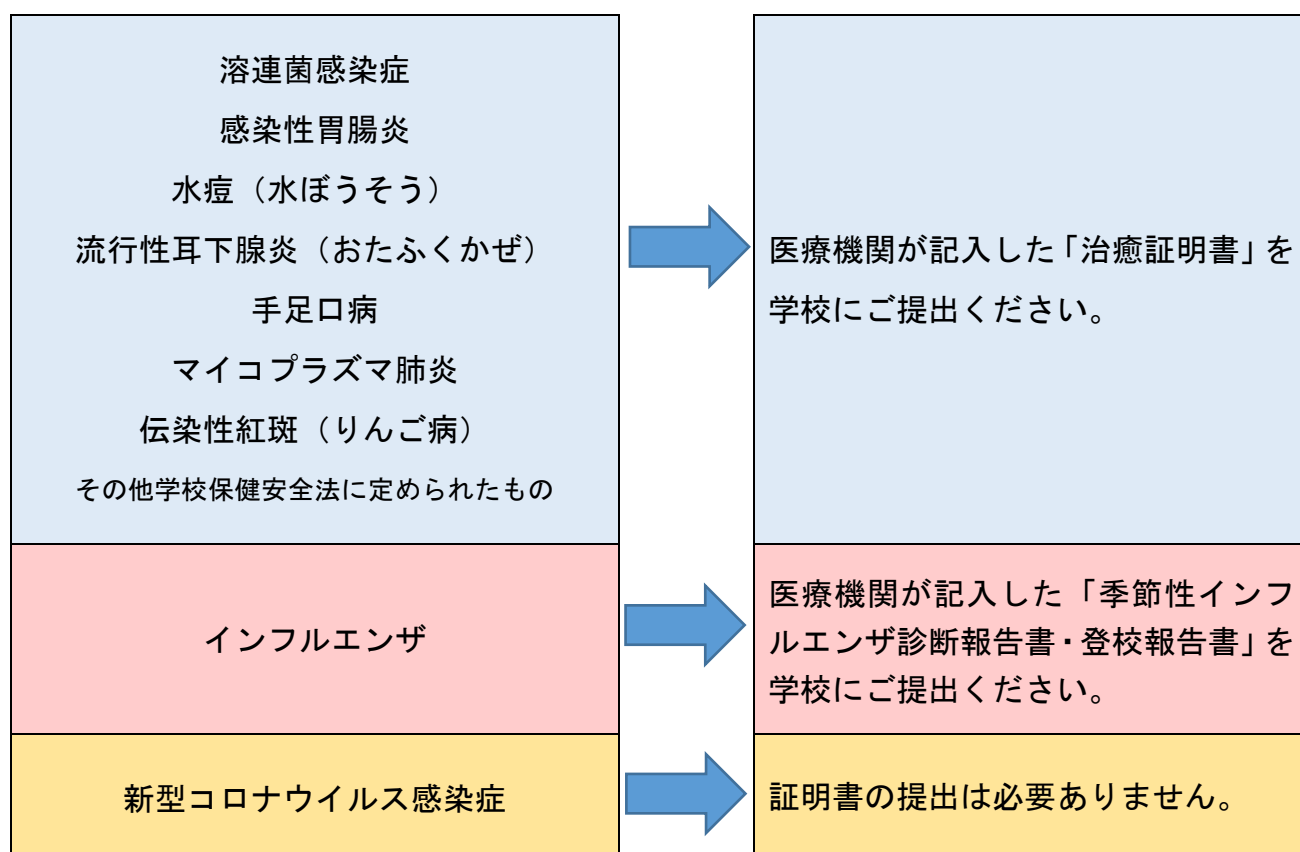


令和7年12月1日
江戸川区立一之江小学校

朝晩の冷え込みが日に日に増して本格的な冬の到来を感じる季節となりました。都内のインフルエンザ報告数は、警報基準を超え流行が拡大中だと発表がありました。感染症の予防のために、こまめな手洗い、咳エチケット、適度な室内の換気・加湿などの基本的な感染防止対策を心がけるようお願いいたします。また、感染が疑われる場合には早めに医療機関を受診しましょう。

「治癒証明書」等について

下記の病気は、学校でよく見られる「学校において予防すべき感染症」です。これらの病気にかかった場合は、出席停止となります。かかりつけの医師から登校の許可が出るまでは学校をお休みさせてください。病気が治って登校する際には、医療機関が記入した証明書を学校にご提出ください。書類は学校のホームページからダウンロードできます。



色覚検査について

先月、色覚検査のお手紙でお知らせしました通り、1年生と4年生の希望者を対象にした色覚検査を行います。検査希望の申込書が提出された児童に、順次実施していきます。検査結果はお手紙でお知らせします。2・3・5・6年生の児童で検査を希望する場合は、担任に連絡帳で「色覚検査希望」とお知らせください。

ほけんもくひょう
12月の保健目標

よぼう
かぜを予防しよう

冬に流行しやすい 感染症

インフルエンザ



特徴

通常の風邪と比べて、急激に強い症状が現れる。

潜伏期間

1～3日

症状

38度以上の高熱、頭痛、関節痛、咳、鼻水、倦怠感、悪寒 など

ノロウイルス



特徴

感染力が非常に強く、感染者の排泄物やおう吐物などからも感染する。

潜伏期間

1～2日

症状

吐き気、おう吐、下痢、腹痛、軽度の発熱 など

新型コロナウイルス



特徴

風邪のような軽い症状から、強い発熱や呼吸器症状まで幅広い。

潜伏期間

2～4日程度

症状

咳、のどの痛み、37.5度以上の発熱、倦怠感、味覚障害 など



のどのかんそうを 防ごう！

ふだんからマスクやうがいをして、
部屋の中では加湿器を使ったり
ぬれタオルを干したりして、のどのかんそうを防ぎましょう。